

メンバー紹介

その7

鈴木 孝 (ステンドグラス工房 かわもと)
はじめまして。この度入会させて頂いた鈴木孝です。
所属は静岡市の「ステンドグラス工房かわもと」で、経験は15年ほどになります。昨年の名古屋展への応募をきっかけに仲間入りさせて頂きました。現役中は時間的制約がありましたが、リタイア後の現在はステンドグラス中心の充実した毎日です。活動はパネル作品の制作を中心に、レストレーション、教室指導などを行っています。

ガラス自体は固くて冷たい無機質ですが、一旦作品になり光を与えられると、柔らかな暖かさを感じさせてくれます。それでいて、凜とした姿を失うことはありません。そんな魅力に取りつかれて創り続けているのかもしれない。

入会を機に、皆様から沢山の刺激をいただき、視野を広げてより成長していきたいと思えます。今後ともご指導をよろしくお願い致します。

富松みかほ (ステンドグラス NAS)
ものを作るのが好きで、いつも何かを作っていました。ガラスの光が織りなす煌めき、『見ているだけで癒される』そんなガラスに魅せられ、ステンドグラスの世界に引き込まれ、制作してきました。

会員の皆様との出会いを大切に、また作品発表の場を通じ活動し、勉強していきたいと思えます。

展示会・出展者募集のお知らせ

第4回 JSGAA 日本ステンドグラス作家協会展 2015 東京 “EMOTION IV 感動”

会期：2015年4月18日(土)～23日(木)

※20日(月)は休館日

会場：東京都美術館 2階第2公募展示室

公募による出展者を募集しております。

詳しくはホームページのニュースの項目にある募集要項をご覧ください。

応募の〆切は2015年1月31日です。

ホームページリニューアルのお知らせ

新しいURLはこちらです。

↓

<http://jsgaa.org/>

JSGAAのホームページがリニューアルされました。今後開催する展示会のお知らせはもちろん、これまで開催してきた京都、東京、横浜、名古屋での展示会の様子をyoutubeでご覧いただけるようになりました。図録に載っていない作品もたくさんあります。また会報誌のバックナンバーもご覧いただけます。

日本ステンドグラス作家協会の過去、現在、未来が詰まった盛りだくさんの内容のホームページです。アクセス、お待ちしております。

編集後記

田所孝一 (ステンドグラス工房 K.T)

今年は随分雨の多い夏ですが皆さんお変わりありませんか。私事ですが10月の個展に向けて生徒と共に必死です。製作するにあたり心構えとして、見てもらった人に“EMOTION 感動”を与えられる様に機会を見つけてはガラス問屋に行き何千、何万枚のガラスを見て感性を磨き、また高等技術と多種多様な技術を身に付けより良いステンドグラス作りに努力しています。

今後も三浦会長のお言葉である「日本一」を目指し会員相互が持っている技術、知識をオープンにして互いに切磋琢磨しながら会員同士の友好とレベルアップを目指します。

本協会への入会、お問い合わせは事務局及び各会員までお願いします。

発行日 2014年8月28日

発行者 日本ステンドグラス作家協会

(事務局) 〒108-0074 東京都港区高輪 4-2-7-201

林 晶子 (A工房)

info@jsgaa.org

編集者 〒841-0004 佐賀県鳥栖市神辺町 1589-3

櫻井 由美 (ステンドグラススタジオ Ys COMET) Tel.0942-84-5546

編集委員 滋野 晶江 (ステンドグラス工房 アトリエ M)

田所 孝一 (ステンドグラス工房 K.T)

日本ステンドグラス作家協会

Japan Stained Glass
Artist's Association

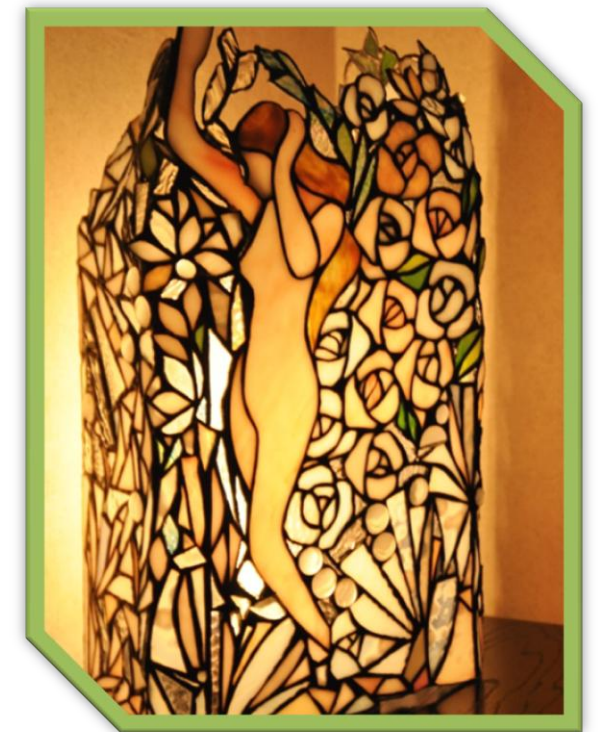
日本ステンドグラス作家協会

会報誌

JSGaA

第12号

2014年8月 Vol.12



Prostitute Onuma Takako

活動報告

通常総会

2014年4月14日(月) 東京都美術館スタジオに於いて平成26年度通常総会を開催しました。

事業報告、予算審議のほか平成27年度に計画しているフランス・パリ展の開催について審議を行いました。

アート未来展

19th 国際公募アート未来展(会期:6月25日~7月7日 会場:国立新美術館)において、櫻井由美(東京都議会議員賞)、高橋春恵(特選)、高橋陽華、舩越文恵、後藤栄、滋野晶江、林晶子(審査員)のJSGAA会員各氏が入選いたしました。

レポート

富岡製糸場

秋のある日、富岡製糸工場に行ってきました。世界遺産に決まる一昨年前のこと、ほとんど観光客はおらず、静かな午後でした。

煉瓦の建物、美しい瓦の屋根。何より風景が波打つ板ガラスに歴史を感じました。点在する工場と生活棟、その一部は歴史を紹介する施設となっていました。どの部屋も陽射しがよく入り込むように、多くのガラス窓に囲まれていました。工場は天井の一番高いところにガラス窓がはめ込まれ機械作業の手元を少しでも明るくしようと工夫がなされていました。

この建物と環境は日本の世界文化遺産として永く大切に残したいものです。

文章・写真
A工房 林 晶子



エッセイ

シャガールのステンドグラス

画家マルク・シャガール(1887—1985年)はステンドグラスも学び制作しています。

フランスをはじめアメリカでも作品が見られます。なかでも三浦会長も強い影響を受けたという、ニューヨーク国連本部にあるその作品を昨年見る事ができました。縦3.50m 横5.36mのその作品は、浮遊する人や動物は彼の絵そのものですが、光を受けた青色は強烈で吸い込まれそうでした。シャガールブルーを実感しました。「平和」の窓として作られたこの作品は、彼のテーマである愛と寛容に溢れ、世界の平和を国際会議が行われるその場所で見守っているのでしょう。



ロックフェラー邸



ユニオンチャーチ

ニューヨーク滞在中に時間があれば、ハドソン川沿いスリーピーホロウにあるKykuit・ロックフェラー邸を見学し、そのお膝下にあるユニオンチャーチもお勧めします。マチスのバラ窓とシャガールのステンドグラスに囲まれた静かな教会です。

最後にフランスで彼の作品がある場所をいくつかあげておきます。メッスのサン・テティエンヌ大聖堂、ランス大聖堂、ニースのマルク・シャガール美術館、サール

ブールのCordeliers教会。2015年のパリ展に出かけた際に見学したいですね。

文章・写真
アトリエM 滋野 晶江

メタモルフォーゼ

6月の初旬、国際公募アート未来展から待っていた審査通知が届きました。封を開けてみると入選に丸がついてほっとした直後、「東京都議会議員賞」の文字に気づき賞を頂いたのだと驚きました。

受賞した作品は「メタモルフォーゼ」。920mm×355mmのダルドヴェールです。一部のガラスに自分で焼成して作ったダルを使用し、前に飛び出したクリアーのレサークが力強いアクセントになりました。チューリップをモチーフにして鮮やかなオレンジ系の花で始まる下部から次第にイエロー、ホワイト、クリアーの上部へと、降りそそぐ光へ向かってメタモルフォーゼ(違うものに変化する)していく様子を表現しました。

この作品を作っていたのは今年の秋。チューリップが咲くずっと先の春を想像しながら、時間の経過とともに私自身も今のままではない次の新しい何かに変わるのだろうか、そうなれるといいなと思ったのです。

賞をいただくということは結果ではなく、これからこの賞に見合うだけの努力と作品を期待しますよ、これからも頑張りなさいということだと思います。アーティストとしての思いを作品の中に表現し、見る人に感動と共感を持ってもらえるようになった時が私のメタモルフォーゼなのかもしれません。

今回この様な素晴らしい賞を下さったアート未来の関係者の皆様、いつもお世話になっている全ての方々に改めて感謝いたします。

文章・写真
ステンドグラススタジオ Y's COMET 櫻井 由美

